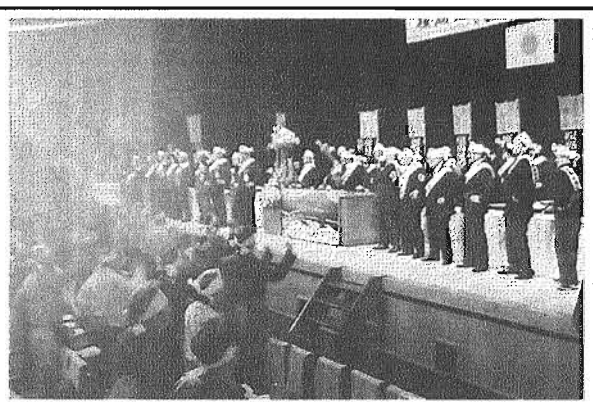
桜島架橋推進協議会総決起大会

官民一体の整備誓う

桜島架橋実現に取り組む「桜島架橋推進協議会」（田中俊實会長）の総決起大会が2日、鹿屋市の文化会館で開かれ、会員や大隅地区の行政、議会関係者、各種団体代表ら約1200人が参加し、官民一体となり架橋整備を強力に推進するなどの3項目を決議した。今後、鹿児島湾岸を中心とした署名活動を展開する。

冒頭、田中会長が「皆さまの協力により、560万円の浄財が集まり感謝します。鹿児島は一つ。桜島架橋は大隅住民の長年の悲願であり、薩摩・大隅半島の心の架け橋として実現に向け、さらなる協力をお願いする」と挨拶。海洋架橋・架橋調査会が約8カ月をかけて調査した3ルートの中で、鹿児島市袴腰港から祇園之州までの約2600mが最適とする基礎調査報告書を田中会長に手渡し、淵田正信技術部長らが大型スクリーンで説明した。

続いて、来賓らの激励があり、桜島架橋は交通の利便性、生活圏の拡大、観光資源として情報発信など、大隅・九州南部の地域の産業・経済・文化の発展に寄与するとした大会決議案を読み上げ拍手で採択した。同協議会は昨年7月、鹿屋経済同友クラブ（田中俊實会長）、垂水経済同友クラブ（川畑弘見会長）、大姶良経済文化同友クラブ（宮路節夫会長）、鹿屋西部商工同友クラブ（吉国重光会長）で発足。同4団体が中心となり、桜島架橋基礎調査費用の募金活動など活発に展開してきた。



「がんばろう三唱」で気勢を上げる参加者＝鹿屋市の文化会館で

話題の商品・工法

新商品・工法の情報などは本社報道部へご連絡下さい。

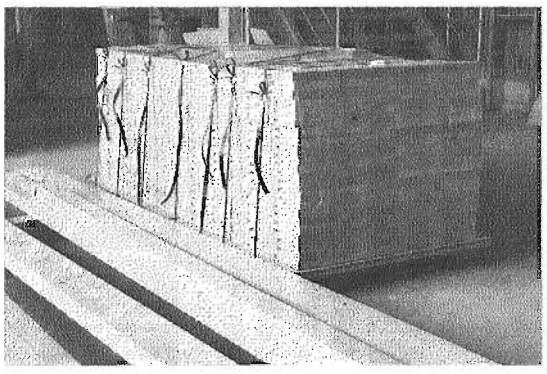
黒川紀章設計 長崎文化歴史博物館に出荷

注目集める不燃処理材

県不燃木協会

鹿児島県不燃木協会（宮崎美弘会長）は、黒川紀章設計・㈱竹中工務店施工の長崎文化歴史博物館（仮称）の長崎奉行所復元工事で使用される木材の不燃処理を行い、3月30日、ファイヤーレターデント防燃水認定鹿児島工場（頴娃町御領）から出荷した。

ル鹿児島）と郡山謙二事務局長（㈲マテリアル九州）は「有名な建築家が設計する物件に私どもの不燃処理が認められ、使用されることは名誉なことです」と感激。「同文化歴史博物館は、博物館本館部分が7000㎡程度、立山奉行所復元整備部分は長屋部分を合つせ



出荷される不燃処理材＝頴娃

ております。その施設の一部に私どもの技術が採用されました。完成後はぜひ見学したい」と話していた。

同協会の不燃木材の受注は4月に3物件、5月に4物件と予定が入っており、新年度早々受注も順調だ。

また、同協会では不燃木材をはじめ準不燃木材、防護処理木材の加工販売、難燃処理、木材乾燥、モルダー加工、白あり忌避処理（無公害）のほか、コンクリート表面強化処理等も手掛けるなど、二つの

ヤンマー農機九州 湧水支店移転新築オープン

地域密着し社業拡大を

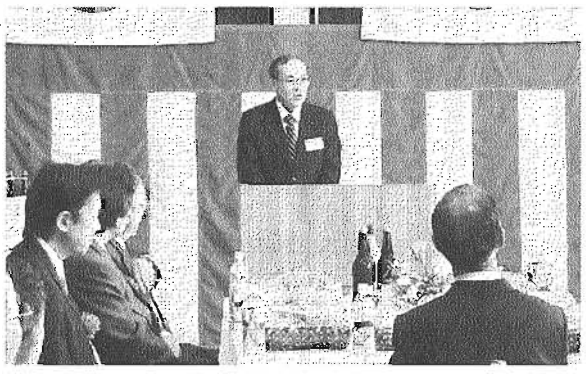
㈱ヤンマー農機九州鹿児島カンパニー湧水支店移転新築落成式が6日、湧水町の現地で開かれ、関係者約50人が出席して祝福するとともに、地域社会発展に向けさらに貢献することを誓い合った。

初めに神事が行われ、小谷輝道㈱ヤンマー農機九州管理部長らが次々と玉ぐしを捧げた。

会場を移して行われた祝賀会では、小谷部長が「新社屋の完成を機に、農とのかかわりを大切に、新たな気持ちで社業に専念したい」と挨拶。次いで、迫田正強同カンパニー社長が建設経過報告を行い、「立派なハードは完成した。ソフトである社員が建物に負けないよう、切磋琢磨しながら地域農業に貢献したい」と決意を述べた。

感謝状贈呈の後、来賓を代表して亀沢実育湧水町農業委員長が「農業経営、規模拡大への貢献に感謝する」と祝辞を寄せた。続いて溝口悦郎支店長が営業を担当する6人を紹介し、佐別当政博湧水町農政課長の発声で祝宴となった。

新社屋はS造平屋1部2階建延べ674・1㎡。設計は㈱畠中設計、本体工は㈲三石建設工業、造成及び外溝は本山機動㈱が担当した。



新たな気持ちで社業に専念したい――と挨拶する小谷管理部長＝湧水町の現地で

隈之城愛好会

地域みまもり隊を結成

新入学児童に防犯ベル寄贈も

薩摩川内市の隈之城愛好会（福重安治会長）は3日、地域の子供たちや高齢者を犯罪から守ろうと「地域みまもり隊」を結成。同日に実施した第3回クリーン作戦終了後、情松秀久川内警察署長らを迎えて吉満祐市会計㈱吉満組）の司会で発足式を開いた。

です。子供たちの安全確保と地域防犯に寄与するため自主防犯組織・地域みまもり隊を結成することにしました」と宣言。会員らの拠出でつくった天地20㎝、幅60㎝のマグネットシート「隈之城愛好会・地域みまもり隊」を車に張り、パトカーの先導で地域内を巡回した。

同会員には建設関連企

成された地域みまもり隊＝薩摩川内市のスーパー駐車場で

じめ㈱吉満組、㈱田代組、㈲福山組、㈱薩摩水道、㈲有馬電設、㈲田原電設、㈲蒲池建築塗装などが参加。地域の安全・環境美化・街づくり活動に住民の立場から積極的にかかわっている。

また、会員らは3月20日、新入学児童の防犯ベル購入資金として隈之城小学校に10万円を寄贈した。

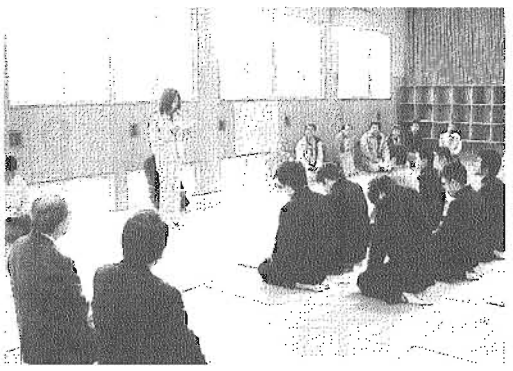
鹿屋高施設完成で説明見学会

県産木材等ふんだんに

鹿屋土木

県鹿屋土木事務所（二俣文生所長）はこのほど、鹿屋市の県立鹿屋高校の柔剣道場と体育実験実習室、プールが完成したことから同校生徒らを対象に説明見学会を開いた。

冒頭、同事務所の横手純男次長兼技術調整課長が「これらの施設で精進を重ねさらなる活躍を期待している」と挨拶。このあと、担当の森建築技師が施設概要、施工業者が使用材料の特性等を説明した。



柔剣道場の使用材料特性を説明した見学会＝鹿屋市の鹿屋高校で

柔剣道場と体育実験実習室は、県産木材がふんだんに使用されているほか、体への衝撃を緩和する床構造など利用者への配慮もされている。また、プールは熱を吸収しにくいゴム製のマットを敷き真夏の足裏への熱さを緩和するなどの工夫がされている。

同校では25日に創立記念と併せて道場開きを予定している。

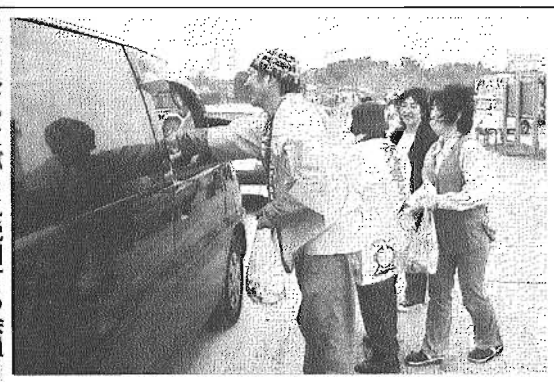
吹上安全運転管理協等 春の交通安全運動

安全運転マナー訴え

春の交通安全運動（4月6日～12日）が県下で一斉に始まった6日、吹上幹部派出所（山脇芳雄所長）は、吹上地区交通安全協会（牟田神基会長）、吹上安全運転管理協議会（内田次男会長）などと協力し、金峰町の国道225号沿いの「道の駅木花館」前で行き交うドライバーらに安全運転マナーの重要性を訴えた。

当日は、現地に集合した約30人の会員らを前に、牟田神会長と山脇署長が「今日から新学期を迎え、子供たちが登下校する機会が多くなる。ドライバーに安全運転の重要性を認識してもらうためにも、しっかりと呼び掛けてほしい」、「現在、昨年より死亡事故の発生件数が増加傾向にある。管内での交通事故発生件数を減らすためにも、みなさんの協力をお願いしたい」とそれぞれの立場から挨拶。

このあと、会員らは次々に通る車を停車して、ドライバーに眠気覚ましのガムやドリンク、安全運転マナーのチラシなどを配布した。



ドライバーに説明する会員

曳家（ひきや）工事・解体工事
土木一式工事・建築一式工事
株式会社 大城
県知事許可（特－12）第4087号
本　社　鹿児島市宇宿町1955-1　☎(099)275-3600(代)
下荒田事務所　鹿児島市下荒田1-18-2　☎(099)254-3938番